みとめ　つたえ　たかめ

校長　菊池　幸博

令和5年度がスタートしました。今年は4月３日(月)が学校開き、そして本日4月7日(金)が始業式・入学式となりました。森東小学校の校長として2年目を迎えました。昨年度も子どもたちは、家庭で育ち、学校で学び、地域で伸びるということを様々な場面で話をさせていただきましたが、家庭・地域そして学校が子どもたちをその中心にしながら、それぞれの取り組みを続け、さらには、三者が連携・協働して子どもたちの健やかな成長を支えていくことが大切であると考えています。

さて、48人の1年生が入学し、児童数238人となった森東小学校です。始業式でもそして入学式でも子どもたちに発信したことは次の3つです。

① あいさつをしっかりしよう

② 人にやさしくしよう　～いじめはしない・させない・ゆるさない～

③ 自分から取り組もう

これは、校長先生と森東小学校の子どもたちとの「約束」ということで話をしました。本校の学校教育目標である、**「認めあい　伝えあい　共に高めあう　森東の子」**の実現にもつながるものと考えております。どうぞご家庭でも話の一つにあげていただければ幸いです。

今年度は新たな取り組みとして、中・高学年において(一部低学年でも)は、学年というよりもブロック(中学年ブロック、高学年ブロック)で教科担当制を進めていきます。2つの学年の担任と各ブロックをサポートする教員が各学年・学級の授業を担当するというスタイルです。これは、多くの教職員の視点で子どもたちの学びをつくるとともに、多面的に子どもたちの様子を見ていくことで、教職員の連携を強め、児童理解を深める。指導教科を絞ることで教材研究の時間のスリム化による働き方改革を図る等といったねらいがあります。

また令和4年度の年度末の学校づくりの振り返りにおいて、学校2期制についての検討をさせていただきました。横浜市が進めている小中一貫教育の具体として森中学校(森中学校は 2 期制)との整合性を図ることや、学期初めの授業時間の確保(具体的に教科学習を10時間程度増やすことができます)等のメリットがございます。このことについては保護者の皆様のご理解をいただきながら、慎重に進めていきたいと考えています。

少しずつ変化をしながら、令和５年度も進めてまいりますので、保護者の皆様、地域の皆様、令和5年度も森東小学校をどうぞよろしくお願いいたします。